

第9回 MaSC 技術交流会“Real Exchange”

2020年8月19日(水)「第9回 MaSC 技術交流会 “Real Exchange” 計算科学の最前線ー易しい基礎から航空機までー」を開催しました。今回は、コロナ禍の状況を鑑みて、初めてオンラインでの開催となりました。

MaSC センター長である塩入諭教授の挨拶で会は始まり、7名の先生方からご講演をいただきました。

◆「計算科学シミュレーションによる材料設計の応用例の紹介」

久保 百司 教授(東北大学 金属材料研究所)

◆「電機メーカーとしてのマテリアルズインフォマティクスの取組みと期待」

水野 洋 様(パナソニック株式会社 テクノロジー本部マテリアル応用技術センター デジタル融合総括)

◆「先進複合材料におけるマルチスケールモデリングと航空機設計への適用」

岡部 朋永 教授(東北大学 工学研究科)

◆「フルードインフォマティクス 2.0 - データ同化による CAE 革新 -」

大林 茂 教授(東北大学 流体科学研究所)

◆「モビリティの自動化にともなう自動管制システムの進化」

星 尚男 様(株式会社 FaroStar 代表取締役/

一般社団法人日本航空教育都市構想推進協議会 専務理事)

◆「MaSC 実学塾」ケーススタディの会 -鉛筆とグラフ用紙から始める計算材料科学実践-のご案内

寺田 弥生 准教授(東北大学 金属材料研究所)

計算材料科学センター(CCMS) 計算物質科学人材育成コンソーシアム(PCoMS))

毎回パネルディスカッションや意見交換会で活発な討議がなされる技術交流会ですが、オンライン開催となった今回も、モデレータの多喜義彦客員教授の的確な突くご意見やご提案で、新たなアライアンスの可能性が生まれました。

